

日塗工 整理No.		2015-0 2	労働災害状況調査表			
発生会社 事業所						
災害発生場所		第1製造課 D4A工場				
災害発生日時		2014年 9月 30日(火) 15時 30分 天候(曇り) 温度(23.2℃)湿度(66%)				
災害区分		不 <del>休</del> 災害 休業災害(休業: 日)				
被 災 者	部門	第1製造課		雇用形態 <u>正社員</u> 、派遣、契約、その他( )		
	年齢	33歳	性別:	<u>男</u> 女	勤続年数 11年6ヶ月 経験年数 11年6ヶ月	
	傷病名	病名 (左脚打撲、肋骨骨折(ひび))				
	傷病部位	脚、胸(肋骨)				
災 害 発 生 状 況	廃溶剤が入った石油缶を廃棄しようと 廃棄ドラムまで移動していた。 石油缶を両手で抱えていたため、 段差のある足場がなくなったことに気づかず 踏み外し前のめりに転倒した。 転倒した際、目の前にあった架台の階段に 左脚と胸をぶつけた。 被災者は、上司等に連絡をせずそのまま退社。 翌朝になり脚と胸に痛みがあると連絡し、 休暇を取り病院へ行った。 診察を受けた結果、肋骨骨折(ひび)、 左脚打撲であった。		状況概略(写真orイラスト) 			
	災害の型 <sup>※1)</sup> 2 転倒		作業の形態: <u>定常</u> 非定常、その他( )			
	起因物: 段差のある足場		特記事項			
	原 因 分 類	1.人的要因(man)両手で石油缶を抱え、足元が見づらい状態で作業した。				
		2.物に関する要因(machine)天切り石油なので抱えるしかなかった。				
		3.環境要因(media)足場が汚れており、段差がわかりづらかった。				
		4.管理的要因(management)異常時や緊急時に、速やかに上司等へ報告しなかった。				
	対 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>取っ手付き容器(ペール缶)に変更する。</li> <li>床と足場の清掃、区分け塗装を行う。(段差をなくす検討をする。)</li> <li>異常時、緊急時には速やかに上司等へ報告する。</li> <li>荷物運搬時の危険予知訓練を実施する。</li> <li>廃棄ドラムの置き場所を検討する。</li> </ul>				
		対策分類 <sup>※2)</sup> : 1-6、2-4、2-6				
	備 考	類似箇所の摘出:				

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)